

2009. 7. 18

夏の祭典

ザルツブルク音楽祭 を聴く

プログラム

ザルツブルクはモーツァルトの生地として知られていますが、1877年から1910年の間に8回の「モーツァルト音楽祭」が開催され、この流れを汲んだのが、現在の「ザルツブルク音楽祭」と言われています。1920年から毎年行われるようになったこの音楽祭は現在では、世界のトップアーティストが集まる豪華で最も注目を浴びる音楽祭となっています。FM等でも毎年放送され、膨大な録音が残されていますので、録音の数々はこれまでも度々御紹介していますが、今日は特集という形で選りすぐりの演奏をお聴き頂きたいと思います。

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770~1827):

ピアノ協奏曲第1番ハ長調op.15 ~ 第1楽章、第2楽章から、第3楽章から

マルタ・アルグリッチ (ピアノ)

クラウディオ・アバード指揮チェコ・フィルハーモニー管弦楽団
(1971.8.4 ザルツブルク祝祭大劇場でのLive)

セルゲイ・ラフマニノフ (1873~1943): ヴォカリーズ (14の歌曲集op.34-14)

アンリ・ヴィニャフスキ (1835~1880): 華麗なるポロネーズニ長調op.4

イツァーク・パールマン (ヴァイオリン)/ブルーノ・カニーノ (ピアノ)
(1975.8.26 ザルツブルク祝祭小劇場でのLive)

グスタフ・マーラー (1860~1911):

交響曲第9番ニ長調 ~ 第4楽章

ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(1982.8.27 ザルツブルク祝祭大劇場でのLive) 【米倉ライブラリーから】

*** 休憩 ***

エーリッヒ・ウォルフガング・コルンゴルト (1897~1957):

ヴァイオリン協奏曲ニ長調 ~ 第1楽章、第2楽章から、第3楽章から

ベンヤミン・シユミット (ヴァイオリン)

小澤征爾指揮ウイーン・フィルハーモニー管弦楽団
(2004.7.24 ザルツブルク祝祭大劇場でのLive)

ジュール・マスネ (1842~1912): 歌曲 “エレジー”

フランチェスコ・パオロ・トステイ (1846~1916): 歌曲 “理想の人”

ホセ・カレーラス (テノール)/マーティン・カツツ (ピアノ)

(1989.8.15 ザルツブルク祝祭大劇場でのLive)

ロベルト・シューマン (1810~1856):

交響曲第4番ニ短調op.120 ~ 抜粋

カール・ベーム指揮ロンドン交響楽団

(1975.8.10 ザルツブルク祝祭大劇場でのLive)